

※結果分析(全国の平均と比べて ○できている ●できていない)

## 〈学力調査〉

### 【国語】

3年○指定された長さで文章を書くことが20ポイント、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、文章を書くこと、32.9ポイント、自分の思いや考えが明確になるように、文章を書いていることが21.3ポイント平均より高いです。

●第2学年に担当されている漢字を正しく読むことに課題がみられました。

話し手が知らせたいことを落とさないように聞いているでは、平均より28.5ポイント低いです。

4年○第3学年に担当されている漢字を正しく読むこと、書くことがよくできています。

●話し手の伝えたいことの内容を捉えているでは、-23.4ポイント全国平均より低いです。乗法と情報との関係について理解し、考えとそれを支える事例との関係を明確にして書くでは、-30.8ポイント平均より低いです。

5年○第4学年に担当されている漢字を正しく読む、書くことができています。

情報と情報の関係について理解し、中心となる語を見付けて要約しているでは、13.3ポイント高いです。

●連体修飾語を理解しているでは、-68.8ポイント、登場人物の気持ちについて叙述を基に捉えているでは、-42.5ポイント、登場人物の気持ちの変化について、具体的に想像しているでは、-51.1ポイント低いです。

### 【算数】

3年○図形や測定の問題、データの活用など、全国平均より高い結果です。

●計算問題は、比較的によくできていますが、繰り上がりや繰り下がりのある計算の間違えが多い状況でした。

基準となるテープの4倍の長さのテープを選ぶことができる。では、-28.3ポイント低いです。

4年○文章問題を解くための除法の式を選ぶことができるでは30.5ポイント、あまりを切り上げて処理する問題ができ、その理由を説明しているでは、32.1ポイント高いです。

●整数-小数第一位の計算ができるでは、-37.8ポイント低いです。

木のまわりの長さをはかるために、適切な計器を選ぶことができるでは、-29.3ポイント低い結果でした。

5年○数と計算の問題では、小数、分数の計算、がよくできていました。

分度器の中に示された核の大きさの目盛りの読み取り方の理解では、29ポイント高い。

●概数に対応する数の範囲の理解では、-25ポイント低いです。

2つの数量関係を基の大きさの何倍になったかを考えて比べることで、-29.2ポイント、伴って変わる2つの数量の関係を表すことができるでは、-28.4ポイント低い結果となりました。

〈学習状況調査〉 ※ポイントは「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合を県と比較したものです。

5年

○	授業で、自分の働化を発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。	+38.6	ポイント
○	学習した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていたと思う。	+29.9	ポイント
○	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。	+28.1	ポイント
○	家で自分で計画を立てて勉強していますか(学校の授業の予習や復習も含みます)。	+28.6	ポイント
○	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。	+23.9	ポイント
●	学校に行く日には、1日に何時間くらい睡眠をとりますか。(7時間未満)	-36.9	ポイント
●	朝食を毎日食べている。	-11.1	ポイント
●	家の人(兄弟を含みません)と将来のことについて話をしますか。	-8.5	ポイント
●	学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)。(60分以上)	-30.8	ポイント

〈学校としての対応・目標〉

- ◎授業では、音読、読書をする時間の確保を行い、読む力を高めます。
- ◎授業では、聞き方やふりかえりの視点を掲示し、全校で共有することで意識を高めていくことを継続していきます。
- ◎「漢字検定」「計算検定」を各学期末に実施して、基礎基本の定着を図ります。
- ◎「土居小タイム(放課後学習)」「主体的な学習の基盤作り事業(学サポ)」の充実を図り、国語や算数の基礎基本と共に、発展問題にも取り組みます。
- ◎ICTの活用を推進し、授業と家庭学習の連動を図ります。
- ◎家庭と連携し、「家庭学習の手引き」「家庭学習がんばりカード」を活用して「10分×学年+10分」の家庭学習を児童が自分の課題に目を向け、主体的にできることを目指します。また、週末課題として、読書、作文・日記に取り組みます。
- ◎読書では、自分の思いや願いを大切にしながら本を選び、一人読みと共にPTAと連携を図り、ふれあい読書の推進に努めます。
- ◎携帯電話やスマートフォン、タブレットなどの使い方について、学級指導を行ったり、学級懇談や人権PTAなどで保護者の方と共に考える機会をもったりして、よりよい使い方ができるように取り組みます。

以上のような学校の指導意図をご理解いただき、ご家庭でもご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。